



フライドポテト屋さん

R7.118(金)

ひまわり組

食べたいじゃがいも料理の中から今日は、フライドポテトを食べました。せっかくならお店屋さんにして“みんなで食べよう!”ということで、フライドポテト屋さんをすることにしました。フライドポテト屋さんに向けて友だちと意見を出し合いました。



～子ども達が考えた準備するもの～

- ・看板
- ・お金
- ・広告(メニュー)
- ・店員さんの服 → (エプロンを使うことにしました)



3つのグループに分かれて準備を進めました

お金グループ

お金グループは、値段を考えました。「500円」「10000円」といろいろな意見が分かれて決まらない様子だったので、保育者が「小さい子達がわかりやすいお金がいいんじゃない?」と提案してみました。「100円ならわかりやすい!」とみんなの意見が一致し、100円に値段が決まりました。100円玉は、絵の具で塗って作りました。



看板グループ

看板グループは、看板の文字をみんなで決めました。「ひまわりぐみ」・「フライドポテト屋さん」・「おいしいよ」の看板を作ることにしました。「駐車場の看板の時みたいに文字を塗って作りたい」とカラフルな色を使って仕上げていましたよ。



広告グループ

広告グループは、広告の内容を考えました。値段、じゃがいもの種類、日にちを書いたらいいとの意見が出て、出来上がると他のクラスに宣伝に行く姿が見られました。広告は、園内のいたるところに貼り、フライドポテト屋さんを案内するやじるしもつけて知らせていました。





とうとうフライドポテト屋さん当日！「ドキドキする」「楽しみ♡」とお客さんが来てくれることにワクワクな子どもたち！最初は緊張していましたが、慣れてくると、「おいしいよ」「ゆり組のポテトです。食べてね」などと声を掛けながら接客していました。「おいしかったよ」と声をかけられてニッコリの子どもたちでした。



以上児のクラス毎に栽培・収穫したじゃがいもが違ったことから、フライドポテト屋さんでは、3種類のじゃがいも（男爵・メークイン・トヨシロ）の食べ比べが出来ました。それぞれ好みに応じて、おかわりをして食べていましたよ。